

第 89 号

お茶の水女子大学学報

昭和 57 年 11 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人事	2
学事	5
諸報	9
海外渡航	9
研修	10
健康診断	11
レクリエーション行事	11
新任者住所	12
職員の住所変更	12
日誌(抄)	12

関係法令

【法律】

○国立又は公立の大学における外国人教員の任用等に関する特別措置法（法律第89号、9月1日官報）

【政令】

○勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令（政令第277号、10月1日官報）

【府令】

○恩給給与細則及び恩給法等の一部を改正する法律附則第13条の規定により給すべき特例傷病恩給の請求手続に関する総理府令の一部を改正する総理府令（総理府令第36号、9月25日官報）

【省令】

○学校保健法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第38号、10月1日官報）

○勤労者財産形成促進法施行規則の一部を改正する省令（労働省令第33号、10月1日官報）

【規則】

○人事院規則（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する規則（人事院規則9-8、9月30日官報

号外）

○人事院規則（通勤手当）の一部を改正する規則（人事院規則9-24、9月30日官報号外）

○人事院規則（職員の災害補償）の一部を改正する規則（人事院規則16-0、9月30日官報号外）

○人事院規則（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則（人事院規則16-4、9月30日官報号外）

○人事院規則（補償及び福祉施設の実施）の一部を改正する規則（人事院規則16-4、9月30日官報号外）

【告示】

○国家公務員共済組合法の規定による家族高額療養費の支給に関し寝たきりの状態等にあるものうち主務大臣が定める者を定める等の件（大蔵省告示第105号、9月1日官報）

○勤労者財産形成年金貯蓄に係る金融機関の金利の最高限度に関する件（大蔵省告示第115号、9月30日官報）

学内規程

○お茶の水女子大学規則第11号

お茶の水女子大学入学試験委員会規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和57年9月29日

お茶の水女子大学長 藤巻 正生

お茶の水女子大学入学試験委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学入学試験委員会規程の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

（審議事項）

第2条 委員会は、入学者選抜試験実施に関し、企画・立案し、及びその運営方法について審議する。

第3条第6号を次のように改める。

六 保健管理センター所長

第6条を削り、第7条を第6条とし、第8条から第9条までを1条ずつ繰り上げる。

第7条第3項を次のように改める。

3 委員会に関する総括事務は、入学主幹室において行う。

附 則

この規程は、昭和57年10月1日から施行する。

〇お茶の水女子大学規則第12号

お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会規程を次のように定める。

昭和57年9月29日

お茶の水女子大学長 藤巻 正生

お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会規程

(設置)

第1条 お茶の水女子大学にお茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 入学者選抜に関する調査研究事項
- 二 入学者選抜方法に関する事項
- 三 その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもつて組織する。

- 一 各学部から選出された教官各2人
- 二 学生部長
- 三 教務委員会委員長
- 四 一般教育委員会委員長

2 第1項第1号の委員は、学長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第1号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員が欠員となつた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は学生部長をもつて充て、副委員長は第3条第1項第1号の委員の互選によつて定める。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要と認める事項の調査研究のため、小委員会を置くことができる。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会は、必要があると認めた場合は、委員

以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

(幹事及び事務)

第9条 委員会に幹事を置き、入学主幹及び各学部事務長をもつて充てる。

2 委員会の事務は、入学主幹室において処理する。

附 則

1 この規程は、昭和57年10月1日から施行する。

2 この規程施行後最初に任命される第3条第1項第1号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、各学部とも1人については昭和58年3月31日までとし、残り1人については昭和59年3月31日までとする。

〇お茶の水女子大学規則第13号

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規を次のように定める。

昭和57年10月27日

お茶の水女子大学長 藤巻 正生

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を次のように改正する。

本則中「稲垣・柳沢奨学基金」を「稲垣・柳沢・山西奨学基金」に改める。

第2条の表稲垣・柳沢・山西奨学基金の項中沿革の第2号の次に次の1号を加える。

三 昭和57年7月本学名誉教授山西 貞氏が教授退官の記念に本基金の趣旨に賛同し本学に寄附す。

附 則

この内規は、昭和57年10月27日から施行し、昭和57年8月16日から適用する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
57.10.16		久保田紀久枝	文部教官(講師家政学部)に採用する
◇		吉見 映子	文部教官(助手大学院人間文化研究科)に採用する
(昇 任)			
57.9.16	文部事務官(会計課総務係長)	田中 定夫	会計課課長補佐に昇任させる
57.10.1	文部事務官(会計課課長補佐)	◇	弓削商船高等専門学校会計課長に昇任させる

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.10.1	文部事務官 (庶務課大学院 係学務主任)	濱田 光美	厚生課学寮係長に 昇任させる
〃	文部教官(山 口大学講師)	高島 元洋	助教授 文教育学 部に昇任させる
(配置換)			
57.10.1	文部事務官 (会計課司計 係長)	中野 公敏	会計課総務係長に 配置換する
〃	文部事務官 (会計課用度 係長)	高野 佳征	会計課司計係長に 配置換する
〃	文部事務官 (厚生課厚生 係長)	薄葉 章	会計課出納係長に 配置換する
〃	文部事務官 (会計課出納 係長)	金井 晃	会計課用度係長に 配置換する
〃	文部事務官 (厚生課学寮 係長)	岩崎 哲昌	厚生課厚生係長に 配置換する
〃	文部事務官 (理学部学務 係学務主任)	柿澤 秀春	庶務課大学院学務 主任に配置換する
〃	文部事務官 (家政学部学 務係学務主任)	田代 和敏	理学部学務係学務 主任に配置換する
(降任)			
57.10.1	文部教官(富 山大学助教 授)	寿津 典子	講師 文教育学部 に降任させる
(併任)			
57.10.1	文部教官(教 授 文教育学 部)	藤永 保	文教育学部長に併 任する 併任の期間は昭和 59年9月30日まで とする 評議員に併任する 併任の期間は昭和 59年9月30日まで とする
〃	〃	〃	評議員の併任を解 除する
〃	〃	大口勇次郎	評議員に併任する 併任の期間は昭和 58年9月30日まで とする
57.10.4	文部事務官 (庶務課)	清水 孝一	大学入試センター 事業部事業課に併 任する 併任の期間は昭和 57年10月6日まで とする
57.10.7	〃	松原 利生	大学入試センター 事業部事業課に併 任する 併任の期間は昭和 57年10月9日まで とする
(事務代理)			
57.9.1	文部教官(学 長)	藤巻 正生	学生部長事務代理 を免する
57.9.4	文部教官(教 授生活環境研 究センター)	五十嵐 脩	生活環境研究セン ター長事務代理を 免する
(辞職)			
57.10.15	文部教官(助 手大学院人間 文化研究科)	真下 智子	辞職を承認する

◎学内委員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.9.16	教 授	五十嵐 脩	保健管理センター 運営委員会委員を 命する 任期は昭和59年9 月15日までとする
〃	助 教 授	水野 悌一	〃
57.10.1	教 授	熊谷 直男	学生委員会・学寮 委員会・学生会館 運営委員会委員を 命する 任期は昭和58年9 月30日までとする
〃	講 師	福田 豊	〃
〃	〃	畑江 敬子	〃
〃	教 授	酒本 雅之	保健管理センター 運営委員会委員を 命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	助 教 授	石黒 節子	〃
〃	教 授	中川 信	予算委員会委員を 命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	〃	近藤 光男	附属図書館運営委 員会委員を命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	〃	田中 翠	ラジオ・アイント ープ実験室運営委 員会委員を命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	助 教 授	松本 勲武	〃
〃	教 授	新関 滋也	〃
〃	〃	五十嵐 脩	〃
〃	〃	瀬野 信子	館山施設計画委員 会委員を命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	〃	浅海 重夫	廃水管理委員会委 員を命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	〃	田中 翠	〃
〃	講 師	永野 肇	〃
〃	教 授	塚本 晃	〃
〃	〃	小林 彰夫	〃
〃	〃	松川 哲哉	〃
〃	〃	五十嵐 脩	〃
〃	助 教 授	小池 三枝	学芸員課程委員会 委員を命する 任期は昭和59年9 月30日までとする
〃	〃	山下 貴司	〃

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
57.9.1	〃	山口 絢子	講師(家政学部) に採用する 任期は昭和57年9 月30日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.9.1		下京真由美	講師(附属小学校)に採用する 任期は昭和57年12月31日までとする
〃		廣川 令子	講師(附属中学校)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		田中 陽子	講師(附属高等学校)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		佐藤千恵子	〃
57.9.16		富野 士良	講師(理学部)に採用する 任期は昭和57年10月15日までとする
〃		藤井 良三	講師(理学部)に採用する 任期は昭和57年9月30日までとする
57.10.1		春日井 明	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		権上 嘉子	〃
〃		坂元 政子	〃
〃		吉川 虎雄	〃
〃		宮口 侗迪	〃
〃		森田 伸子	〃
〃		山村 健	〃
〃		渡辺 博史	〃
〃		神田 道子	〃
〃		西形 節子	〃
〃		吉田 敬一	〃
〃		市川 雅章	〃
〃		増山英太郎	〃
〃		佐野 圭子	〃
〃		横倉 尚	〃
〃		大日向雅美	〃
〃		吉家 千秋	〃
〃		楠原 彰	〃
〃		宮島 静雄	講師(理学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		丸山 徹	〃
〃		上坪 宏道	〃
〃		中原 勝儼	〃
〃		永松 一夫	〃
〃		高木 ミエ	〃
〃		石川 孝夫	〃
〃		松崎 節女	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		田村 照子	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.10.1		石山 彰	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		細井 雄介	〃
〃		小川 春男	〃
〃		安井 孝治	〃
〃		馬場 紀子	〃
〃		服部 一馬	〃
〃		堀内 捷三	〃
〃		竹内 整一	〃
57.10.16		羽入佐和子	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		横関 至	〃
〃		林 玲子	〃
〃		草薙 昭雄	講師(理学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		角田 光雄	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
〃		佐々井 啓	〃
〃		片山 倫子	〃
(併任)			
57.10.1	文部教官(群馬大学教授)	有末 武夫	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和58年3月31日までとする
〃	厚生技官(厚生省人口問題研究所)	阿辺 宏	〃
〃	文部教官(筑波大学助教授)	佐々木 博	〃
〃	文部教官(国立教育研究所)	横山 宏	〃
〃	文部教官(東京大学教授)	石井 寛治	〃
〃	文部教官(附属高等学校教諭)	三浦 良子	〃
〃	文部教官(附属中学校教諭)	佐藤 絹子	〃
〃	〃	富枿 京一	〃
〃	文部教官(附属小学校教頭)	福田 静子	〃
〃	文部教官(附属小学校教諭)	富平 美喜	〃
〃	文部教官(筑波大学教授)	中村 正年	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年3月31日までとする
〃	文部教官(電気通信大学教授)	野田 春彦	〃
〃	文部教官(東京大学講師)	佐藤 和郎	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.10.1	文部教官(筑波大学講師)	齊藤 隆史	講師(理学部)に併任する併任の期間は昭和58年3月31日までとする
〃	文部教官(東京大学講師)	藤田 長子	〃
〃	文部教官(東京大学助手)	高野 敬	〃
〃	文部教官(東京大学教授)	見田 宗介	講師(家政学部)に併任する併任の期間は昭和58年3月31日までとする
〃	文部教官(東京大学助教授)	池本 勲	〃
〃	文部教官(名古屋大学教授)	古賀 正三	〃
〃	文部教官(東京大学教授)	戸田 昭三	〃
〃	〃	蓑田 泰治	〃
〃	〃	磯田 浩	〃
〃	厚生技官(国立栄養研究所)	宮崎 基嘉	〃
〃	文部教官(東京工業大学教授)	宮坂 啓象	〃
57.10.16	文部教官(東京学芸大学助教授)	児島 邦宏	講師(文教育学部)に併任する併任の期間は昭和58年3月31日までとする
〃	文部教官(図書館情報大学助教授)	渡辺 礼子	〃
〃	文部教官(筑波大学講師)	菅野 健	〃
(任用更新)			
57.10.1	講師(理学部)	竹沢 照	任用を更新する任期は昭和58年3月31日までとする
〃	講師(家政学部)	岡田 陽子	〃

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
57.9.1		小甲 浩之	事務補佐員(庶務課)に採用する任期は昭和58年3月31日までとする
57.10.1		宮下 忍	見習員(会計課)に採用する任期は昭和58年3月31日までとする
〃		村松 晶子	教務補佐員(文教育学部)に採用する任期は昭和58年3月31日までとする
〃		吉田 優子	事務補佐員(家政学部)に採用する任期は昭和58年3月31日までとする
〃		犬尾智穂子	教務補佐員(家政学部)に採用する任期は昭和58年3月31日までとする
〃		長尾 慶子	〃
〃		吉田 史子	〃
(任用更新)			
57.10.1	事務補佐員(文教育学部)	桜井 裕子	任用を更新する任期は昭和58年3月31日までとする
(辞職)			
57.9.30	臨時事務補佐員(会計課)	柳田 敏子	辞職を承認する
〃	教務補佐員(文教育学部)	青島 朋子	〃
〃	教務補佐員(家政学部)	大塚 布由	〃
57.10.15	事務補佐員(文教育学部)	田中いつみ	〃

学 事

○昭和58年度 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻	8	英文学専攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学 }	8	教育学専攻	12
		舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演 奏学 }	10
地理学専攻	6		
日本文学専攻	8		
中国文学専攻	4		

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記該当の女子とする。

- 1. 大学を卒業した者、および昭和58年3月卒業見込の者
- 2. 学校教育法施行規則第70条の規定により、本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業（または見込）証明書
- (3) 推薦書 指導教官または主任教官等により作成されたもの（形式随意）
- (4) 調査書 大学院修士課程入学選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさ名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、60円切手をはる。
- (8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料（14,000円）を添え、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

5. 出願期日・願書受付場所

- (1) 1月17日（月）から1月24日（月）までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし土曜日は午前11時30分まで。なお、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和58年1月24日以前の消印のあるものだけに限り受け付ける。
- (2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 本学文教育学部事務部（地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車）

6. 選考期日・時間割および試験場所

- (1) 選考期日 昭和58年2月1日（火） 2日（水）
- (2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名	2/1 筆記試験科目		2/2	備考
	外国語	専門科目(13:00~15:00)	口述試験	
哲学専攻	哲学	および英・独・仏語のうち左記外国語試験で選択しなかった1か国語 10:00~11:30 英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	倫理学			
	美学			
	社会哲学			
史学専攻	日本史学	日本史学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	東洋史学	東洋史学		
	西洋史学	西洋史学		
地理学専攻		地理学	註ハ、参照	
日本文学専攻		国文学および国語学		
中国文学専攻		中国語学および中国文学	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。	

専攻名		2/1 筆記試験科目		2/2 口述試験	備考
		外国語	専門科目(13:00~ 15:00)		
英文学専攻			英語・英語学および英米文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
教育学専攻			教育学・教育心理学のうちいずれか1科目選択、および論文		
舞踊教育学専攻	舞踊教育学		舞踊学および論文 論文は志望する講座出題の課題を選択する。	10:00~ 舞踊実技を課することがある。	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	遊戯学				
	動作学				
	音楽学		10:00~ 演奏(任意の楽器または声、曲目は自由)を課することがある。		
	演奏学		西洋音楽史または日本音楽史	10:00~ 10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。	

註 イ. 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ. 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行う。

ハ. 地理学専攻の筆記試験には学士論文もしくは、これに準ずる研究の要旨記述を含ませることがある。

ニ. 学士論文(上記、提出を指示された専攻志望者のみ。)を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。

ホ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

7. 検定料・入学料および授業料 検定料 14,000円 入学料 100,000円 授業料(年間) 21,6000円

8. 合格者発表

昭和58年2月12日(土)午前10時頃学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務室で交付する。都合により当日、来学できない合格者には、本人に郵送する。

9. 注意事項

(1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。

(2) 出願手続後はどんな事情があっても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。

(3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

〒112 東京都文京区大塚2丁目1の1 お茶の水女子大学 電話:東京(03)943-3151(大代表)

○昭和58年度 お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程学生第2次募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

(1) 大学を卒業した者及び昭和58年3月卒業見込の者

(2) 文部大臣の指定した者

(3) 外国の大学を卒業した者

(4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目	専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学	数 名	2月2日(水) 9:20~ 10:50	一般・基礎教育科目 (微積分, 代数と幾何, 位相空間)	化 学	数 名	2月1日(火) 10:30~ 12:00	一般・基礎教育科目 (化学及び※「物理学又 は生物学」)
		11:00~ 12:30	外国語 (英・独・仏・露のうち から2か国語を選択)			13:00~ 16:00	専門科目(化学)
		13:30~ 15:30	専門科目(数 学)			2月2日(水) 10:00~ 12:00	外国語(英・独・仏・ 露のうちから2か国語 を選択)
		16:30~	口述試験			13:30~	口述試験
物理学	数 名	2月2日(水) 9:20~ 10:50	一般・基礎教育科目(物 理学)	生 物 学	数 名	2月2日(水) 10:00~ 12:00	外国語 (英・独・仏・露のう ちから2か国語を選 択)
		11:00~ 12:30	外国語 (英・独・仏・露のう ちから2か国語を選択)			13:00~ 16:00	専門科目(生物学)
		13:30~ 15:30	専門科目(物理学)			16:30~	口述試験
		16:30~	口述試験				

※物理学又は生物学のうち1科目を選択すること。ただし、志望区分「化A」「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

4. 出願期間

昭和58年1月17日(月)から1月24日(月)まで。

郵送する場合は、必ず書留として「大学院入学願書」と朱書し、1月24日(月)までに必着のこと。

5. 出願手続

(1) 願書受付

- ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
電話：東京(03)943-3151(大代表)
- イ 時間 平日は午前9時から午後3時まで
土曜日は午前9時から11時30分まで

(2) 提出書類等

- ア 志望者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
- イ 卒業(又は見込)証明書
- ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
- エ 調 査 書(本学所定の用紙)
- オ 検 定 料 14,000円 現金又は郵便為替
- カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。
(様式随意)
- キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、60円切手をはった定形郵便物用封筒を同筒する。

6. 合格者の発表

- (1) 2月10日(木)正午の予定。理学部1号館内公示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、昭和58年3月中旬に送付する。

7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学科 100,000円 授業料 年額 216,000円

8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、70円切手をはった定形郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。

9. 大学所在地案内

- 都営バス 大塚2丁目停留所前
 地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分
 地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

~~~~~

## 諸 報

~~~~~

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
理 学 部 師 講	福 田 豊	ハンガリー人民共和国 フランス共和国 スイス連邦	第22回国際錯塩化学会議およびストラスブルグ、バーゼル大学での研究討論のため	57.8.10~ 57.8.31	研 修
家 政 学 部 手 助	小 山 高 正	アメリカ合衆国	日米科学協力事業のため	57.7.19~ 57.9.1	〃
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	福 場 博 保	フィリピン共和国	熱帯地域における根菜類の生産、貯蔵、加工、植生全般にわたる生物資源学的研究	57.7.19~ 57.9.3	出 張
理 学 部 師 講	藤 枝 修 子	カナダ アメリカ合衆国	第7回国際熱分析会議出席及び研究打合せ	57.8.20~ 57.9.5	研 修
理 学 部 助 教 授	前 田 侯 子	オランダ王国 ドイツ連邦共和国 イスラエル	昭和57年度文部省在外研究員として有機光化学反応の研究	57.7.6~ 57.9.6	出 張
文 教 育 学 部 教 授	徳 丸 吉 彦	フランス共和国 オーストリア共和国	学会出席及び資料収集	57.8.25~ 57.9.8	研 修
理 学 部 助 教 授	細 矢 治 夫	ドイツ連邦共和国 フランス共和国 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国	国際共同研究「分子科学における電子的過程の量子的研究」及び理論有機化学国際会議出席のため	57.8.28~ 57.9.13	出 張

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
理学部 助教授	山下 貴司	中華人民共和国	中国政府派遣大学院留学生 の予備教育のため	57. 6. 15～ 57. 9. 14	出張
文教育学部 助教授	中村 弓子	フランス共和国	フランス語教育の研修・調 査のため	57. 7. 28～ 57. 9. 15	研修
文教育学部 教授	大宮 誠	ドイツ連邦共和国 フランス共和国 オーストリア共和国 チェコスロバキア社会 主義共和国	国際学会出席及び資料調 査、収集	57. 8. 26～ 57. 9. 23	出張
理学部 助教授	山下 貴司	オーストリア共和国	シンポジウム「根の生態学 とその応用」に出席、講演	57. 9. 25～ 57. 10. 5	〃
家政学部 助教授	袖井 孝子	ソビエト社会主義共和 国連邦	ソ連における老人問題研究	57. 9. 23～ 57. 10. 9	研修

○研修

名称	実施期日	対象者	修了者	主催
昭和57年度中堅事務職員 研修	57年 8月30日 9月2日	本学事務担当職員のうち行(→)6 等級又は7等級の者で事務局長 が決定する者	庶務課 清水 孝一 会計課 岡田 健一 〃 峯村 薫 〃 山本 隆 〃 富山 弘 〃 柴田 正造 施設課 熊谷 卓郎 学生課 斉藤 正廣 〃 村山 恵子 文教育学部 丹藤 勝次 〃 西原 敏雄 附属図書館 村上 保彦 〃 田村まり子 〃 蔵野由美子 附属学校部 佐野 公子	本学
第10回関東地区秘書業務 研修	57年 9月7日 9月10日	現に秘書的業務に従事している か、またはこの研修受講後秘書 的業務に従事する予定の者で、 年齢30才未満とし採用後1年以 上経過した者	庶務課 高山理知子	人事院関東 事務局
行政管理セミナー(第14 回プログラマーコース)	57年 9月27日 10月29日	情報処理部門要員でプログラミ ング作業に従事する者で、原則 として行(→)5等級以下の者	会計課 山本 隆	行政管理庁 行政管理局
関東C地区国立学校事務 電算化担当職員研修会	57年 9月27日 10月2日	関東C地区国立学校の職員で、 主任又は主任相当の職にある者 で、現に事務電算化に携わって いる者又は今後携わると考えら れる者	会計課 佐々木信一	文部省及び 東京工業大 学
第33回文部省会計事務特 別研修	57年 9月28日 10月16日	現在会計事務に従事し、かつ、 1年以上会計事務の経験を有す る事務官又はそれに相当する職	会計課 岡田 健一	文部省

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
		員で、原則として年齢25歳から30歳までの者		
第20回関東・甲信越地区国立学校等係長研修	57年 10月19日 10月22日	係長又は係長相当の職にあり年齢50歳以下の者	会計課 管財係長 海老原 葵 附属学 校部教育研究 係長 佐藤 利栄	文部省、東京商船大学及び東京工業大学
第17回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修会	57年 10月26日 10月30日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者	会計課 柴田 正造	文部省及び東京大学

○健康診断

事 項	実施期日	対 象 者	受 診 者 数	実 施 場 所
昭和57年度人間ドック	57年 6月1日 9月30日	昭和57年4月1日現在で満35歳以上の共済組合員（任意継続組合員を含む。）	42人	平塚胃腸クリニック
昭和57年度第1回職員特別定期健康診断	57年 9月20日 9月22日	タイピスト、守衛、自動車運転手計8名	8	本学保健管理センター
昭和57年度第1回教職員一般定期健康診断	57年 10月19日 10月20日	全員、ただし、昭和57年度人間ドックの受診者並びに各検査項目ごとに対象者外とされた者を除く。	内科診察 292 胸部レントゲン検査（間接撮影） 277 血圧測定 249 尿検査 217	本学保健管理センター
昭和57年度教職員肝臓機能検査	57年 10月22日 10月26日 10月29日	満40歳以上の職員。ただし昭和57年度人間ドック受診者及び特別定期健康診断受診者を除く	107	本学保健管理センター

○レクリエーション行事

行 事 名	実施期日	参加者数	入 賞 者（チーム）等	実 施 場 所
学内共同事業「大相撲東京場所観戦」	57年 9月12日 15日、18日、19日、23日、25日、26日	50人		東京蔵前国技館
学内共同事業「はぜ釣」	57年 9月15日	20		東京湾内
学内共同事業「教職員家族運動会」	57年 9月30日	216	優勝 各附属学校、附属学校部 2位 会計課、附属図書館、女性文化資料館 3位 庶務課、施設課、人間文化研究科、学生部、保健管理センター 4位 文教育学部、理学部、家政学部、生活環境研究センター	大学グラウンド

○新任者住所

○職員の住所変更

- 9月20日(月) 留学生顧問教官会議
- 21日(火) 部局長會議、附屬學校委員會、第73回東京地区国公立大学厚生補導部課長會議(於:東京工業大学)
- 22日(水) 各研究科委員會、各学部教授會
- 24日(金) 學生委員會、學寮委員會、學生會館運營委員會
- 28日(火) 部局長會議、生活環境研究センター運營委員會
- 29日(水) 評議會、臨海實驗所運營委員會、教育實習担当者説明會及び教員免許事務担当者説明會(於:都立教育研究所)
- 30日(木) 昭和57年9月卒業式・學位記授与式、事務連絡會議
- 10月1日(金) 秋期休業(1日~7日)
- 4日(月) 第62回關東甲信越地区国立大学庶務部課長會議(4日・5日:於長岡技術科学大学)、昭和57年度外国人留學生見學旅行(豐田・浜松方面)
- 8日(金) 後学期授業開始
- 9日(土) 女子大学連盟総會(於:清泉女子大学)
- 12日(火) 一般教育委員會
- 13日(水) 教務委員會、學寮委員會、學寮協議會、大学院家政学研究科入試
- 14日(木) 第60回關東甲信越地区国立学校施設部課長會議(14日・15日於:新潟大学)、昭和57年度第2回東京地区国立大学榮養士連絡協議會(於:埼玉大学)
- 15日(金) 關東甲信越地区国立大学長會議(於:竹橋會館)
- 18日(月) 部局長會議
- 19日(火) 教職員一般定期健康診斷(19日・20日)
- 20日(水) 各研究科委員會、各学部教授會、第65回關東甲信越地区国立大学會計部課長會議
- 21日(木) 大学院家政学研究科入學合格者發表
- 22日(金) 教職員肝臟機能檢査(22日・26日・29日)
- 25日(月) 施設計画委員會、入學者選拔方法研究委員會
- 26日(火) 部局長會議、學生委員會、學生會館運營委員會、學寮委員會、學寮協議會、附屬學校長選考委員會
- 27日(水) 評議會、體育祭

日誌(抄)

- 9月7日(火) 第3回全国国立大学学生部長協議會(7日・8日於:大阪大学)、第10回關東地区秘書業務研修(7日~10日於:人事院關東事務局)
- 8日(水) 夏期休業終
- 9日(木) 教務・一般教育合同委員會
- 13日(月) 大学院理学研究科入試(13日・14日)
- 16日(木) 一般教育委員會、關東甲信越地区管理事務協議會(16日・17日於:信州大学)
- 17日(金) 學寮委員會、學寮協議會、入試委員會、入試委員會小委員會
- 18日(土) 第29回東京地区国公立大学連合文化會(美術部門)委員會及び第2回學生委員分科會(本學)

- 10月28日(木) 国立22大学理学部長会議(於:学
士会館)、国立大学理学部長懇談会
(於:学士会館)
- 29日(金) 事務連絡会議
- 30日(土) 昭和57年度教職員家族運動会、第29
回東京地区国公立大学連合文化会
(美術部門)委員会及び第3回学生
委員分科会(本学)